

令和3年度 秋期
システム監査技術者試験
午後Ⅱ 問題

試験時間

14:30 ～ 16:30 (2時間)

注意事項

1. 試験開始及び終了は、監督員の時計が基準です。監督員の指示に従ってください。
2. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いて中を見てはいけません。
3. 答案用紙への受験番号などの記入は、試験開始の合図があってから始めてください。
4. 問題は、次の表に従って解答してください。

問題番号	問1, 問2
選択方法	1問選択

5. 答案用紙の記入に当たっては、次の指示に従ってください。
 - (1) B又はHBの黒鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。
 - (2) 受験番号欄に受験番号を、生年月日欄に受験票の生年月日を記入してください。
正しく記入されていない場合は、採点されないことがあります。生年月日欄については、受験票の生年月日を訂正した場合でも、訂正前の生年月日を記入してください。
 - (3) 選択した問題については、次の例に従って、選択欄の問題番号を○印で囲んでください。○印がない場合は、採点されません。2問とも○印で囲んだ場合は、はじめの1問について採点します。

〔問2を選択した場合の例〕

選択欄	問1	問2
	1問選択	

注意事項は問題冊子の裏表紙に続きます。
こちら側から裏返して、必ず読んでください。

“あなたが携わったシステム監査，システム利用又はシステム開発・運用業務の概要”

の記入方法

あなたの所属部門と，あなたが担当した主なシステム監査，システム利用又はシステム開発・運用業務の概要について記入してください。

質問項目①，③，④，⑥～⑪は，記入項目の中から該当する番号又は記号を○印で囲み，必要な場合は（ ）内にも必要な事項を記入してください。複数ある場合は，該当するものを全て○印で囲んでください。

質問項目②は，あなたが担当した主なシステム監査，システム利用又はシステム開発・運用業務の名称を記入してください。

質問項目⑤は，（ ）内に必要な事項を記入してください。

問1 RPA ツールを利用した業務処理の自動化に関する監査について

近年、少子高齢化に伴う労働人口の減少、働き方のニーズの多様化などの課題に対して、企業などには働き方改革の推進が求められている。また、広域災害、感染症拡大などの状況下において、テレワークの活用も広がっている。

このような中、RPA ツール（以下、RPA という）を導入する事例が増えてきている。RPA を利用してソフトウェアロボット（以下、ロボットという）を開発することによって、これまで PC 上で人手を介して行っていた一連の業務処理を自動化することができる。また、RPA には、自動化したい業務処理の操作を記録する機能のほか、標準的な部品なども用意されているので、ユーザ部門でもドラッグアンドドロップなどの比較的簡単な操作でロボットを開発することができるという特徴もある。

一方で、ユーザ部門は、情報システムの開発、運用及び保守には必ずしも精通しているわけではない。したがって、ユーザ部門が RPA を導入してロボットを開発する場合、例えば、自動化の対象とする業務処理の選定を誤ったり、テストパターンが不足したりするなどのおそれがある。また、開発したロボットの運用管理、改変対応などの、運用及び保守体制・ルールなどが明確でないことから、ロボットが正しく稼働しなくなることもある。

システム監査人は、このような状況を踏まえて、RPA を利用した業務処理の自動化において、ロボットの開発、運用及び保守に関わるリスクを低減するためのコントロールが適切に機能しているかどうかを確かめる必要がある。

あなたの経験と考えに基づいて、設問ア～ウに従って論述せよ。

設問ア あなたが関係する組織において計画又は実施している RPA を利用した業務処理の自動化において、その概要と期待される効果、ロボットを開発、運用及び保守するための体制を、800 字以内で述べよ。

設問イ 設問アで述べた業務処理の自動化において、ロボットの開発、運用及び保守に関わるリスクを低減するためには、どのようなコントロールが必要か。リスクと関連付けて、700 字以上 1,400 字以内で具体的に述べよ。

設問ウ 設問イで述べたコントロールが適切に機能しているかどうかを確かめるための監査手続について、700 字以上 1,400 字以内で具体的に述べよ。

問2 他の監査や評価として実施された手続とその結果を利用したシステム監査の計画について

企業における IT の利活用は、経営や業務に幅広い影響を与えている。そこで、システム監査以外に、社内規程に基づく業務監査、法令に基づく内部統制の経営者評価、認証取得・維持のための内部監査などにおいて、IT に関する様々な監査や評価が実施されている。このような監査や評価として実施された手続とその結果（以下、他の監査等という）をシステム監査で利用することは、システム監査の効率向上だけでなく、監査対象部門の負担を軽減する上でも有効である。

他の監査等を利用する場合には、システム監査の計画策定時に、当該システム監査の目的に照らして利用可能な他の監査等があるかどうかを検討する必要がある。その上で、他の監査等が利用できるかどうかを検討し、利用可能と想定される他の監査等の範囲を特定する。

また、他の監査等を実施した担当者の能力・独立性、実施された手続の適切性、指摘事項のフォローアップの妥当性などを踏まえて、他の監査等が当該システム監査の目的に照らして想定どおり利用できるかどうかを評価することが重要になる。評価した結果、例えば、システム変更後の業務が含まれていなかったり、想定外の新たな指摘事項が発見されたりなど、想定どおりではなかった場合には、当該システム監査の計画を見直す必要がある。

あなたの経験と考えに基づいて、設問ア～ウに従って論述せよ。

設問ア あなたが携わった組織において、計画又は実施したシステム監査の目的・概要、及び利用可能と想定又は利用した他の監査等の概要を、800 字以内で述べよ。

設問イ 設問アで述べた他の監査等について、システム監査で利用可能と想定した理由を含め、700 字以上 1,400 字以内で具体的に述べよ。

設問ウ 設問イで述べた他の監査等が利用できるかどうかを評価するためのポイント、及び想定どおりではなかった場合に見直すべきシステム監査の計画の内容について、700 字以上 1,400 字以内で具体的に述べよ。

[メモ用紙]

[メモ用紙]

[メモ用紙]

6. 解答に当たっては、次の指示に従ってください。指示に従わない場合は、評価を下げる場合があります。

(1) 問題文の趣旨に沿って解答してください。

(2) 解答欄は、“あなたが携わったシステム監査，システム利用又はシステム開発・運用業務の概要”と“本文”に分かれています。“あなたが携わったシステム監査，システム利用又はシステム開発・運用業務の概要”は、2 ページの記入方法に従って、全項目について記入してください。項目に答えていない場合、又は、項目間に矛盾があるなど適切に答えていない場合は減点されます。

(3) “本文”は、設問ごとに次の解答字数に従って、それぞれ指定された解答欄に記述してください。

・設問ア：800 字以内

・設問イ：700 字以上 1,400 字以内

・設問ウ：700 字以上 1,400 字以内

(4) 解答は、丁寧な字ではっきりと書いてください。

7. 退室可能時間中に退室する場合は、手を挙げて監督員に合図し、答案用紙が回収されてから静かに退室してください。

退室可能時間	15:10 ～ 16:20
--------	---------------

8. 問題に関する質問にはお答えできません。文意どおり解釈してください。

9. 問題冊子の余白などは、適宜利用して構いません。ただし、問題冊子を切り離して利用することはできません。

10. 試験時間中、机の上に置けるものは、次のものに限りです。

なお、会場での貸出しは行っていないです。

受験票、黒鉛筆及びシャープペンシル（B 又は HB）、鉛筆削り、消しゴム、定規、時計（時計型ウェアラブル端末は除く。アラームなど時計以外の機能は使用不可）、ハンカチ、ポケットティッシュ、目薬、マスク

これら以外は机の上に置けません。使用もできません。

11. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ることができます。

12. 答案用紙は、いかなる場合でも提出してください。回収時に提出しない場合は、採点されません。

13. 試験時間中にトイレへ行きたくなったり、気分が悪くなったりした場合は、手を挙げて監督員に合図してください。

試験問題に記載されている会社名又は製品名は、それぞれ各社又は各組織の商標又は登録商標です。なお、試験問題では、™ 及び ® を明記していません。

©2021 独立行政法人情報処理推進機構